

米環境保護庁(USEPA)によるPFAS戦略ロードマップ ー水質関連の主要なアクションー

評価

- ① GenXとPFBA/PFHxA/PFHxS/PFNA/PFDAの最終毒性評価を公表
(2021/10 GenX公表、その他継続中)
- ② 水路へのPFAS排出を削減する為、NDPES*¹で削減し、PFASの排出源とそこから排出される量を把握
(2022年冬予定)
- ③ より正しく水生生物への影響を評価するために、魚組織に関するPFASデータの質を高める
(2022年夏、2023年春予定)
- ④ 下水汚泥中のPFOA/PFOSのリスク評価を最終決定
(2024年冬予定)

規制

- ① PFOAとPFOSに関する一次飲料水規制を確立し、公共水道のモニタリングを義務付け、同時に追加のPFASとその他PFAS群を評価
(2022年秋に規則案、2023年秋に最終規則)
- ② GenXとPFBSの健康勧告を公表
(2022年春予定)
- ③ 基準値を確立するためのELG *²プログラムを通じ、産業排出源から生じるPFAS排出を制限する
(2022年春予定)
- ④ 水生生物と人間の健康に関するPFASの最終推奨環境水質基準を発行
(2022年秋と2024年秋予定)

分析方法

- ① 8つの異なる環境試料で40種のPFASをモニタリングできるように改良した分析方法を公表
(2022年冬と2024年秋予定)

NDPES*¹ : National Pollutant Discharge Elimination System [<https://www.epa.gov/npdes>]

ELG*² : Effluent Limitations Guidelines[<https://www.epa.gov/eg>]

Reference - https://www.epa.gov/system/files/documents/2021-10/pfas-roadmap_final-508.pdf